

浜松オート
SG
第34回

全
回
本
選
抜
ス

観戦ガイド

SG 全日本選抜四連覇中
鈴木圭一郎選手

期間中、7Rの2連単のみ払戻率80%!

GRADE RACE SEVEN 7R 80%

出陣時の直虎ちゃん
出陣時の家康くん

おなじみ高木へ

オツスパーク杯
SG第34回全日本選抜オートレース

2/19 20 21 22 23
FRI SAT SUN MON TUE

Auto Race

開門10:00 1R試走開始10:15 入場無料 後援 経済産業省(予定) 開催 浜松オートレース場

開催概要

地元王者がS1を打ち破つての5連覇なるか!?

一昨年4月以来、約2年ぶりとなるSGが浜松にやってくる。今回で34回目を迎える全日本選抜オートレース。現在この大会を4連覇中なのは他でもない、地元・鈴木圭一郎。島田信廣元選手がスーパースター王座決定戦で達成した、同一SG5連覇のタイ記録に向け、期待が集まる。

出場資格は前回覇者に加え、現S級全選手に、A級からは過去一年間における1レースあたりの平均賞金獲得額上位者が選抜される。いわば「上位戦・勝負どころで強い選手」が集結する開催ということになる。

勝ち上がりはポイント制となり、予選2日間の平均ポイント上位64名が3日目準々決勝戦へ進出。その準々決勝戦で1着と1着を除く3日間の平均ポイント上位24名の選手が準決勝戦へという流れ。初日から激しいポイント争奪戦が展開されそうだが、オープン、もしくは短ハンデ戦のSGゆえ、鍵を握るのはスタート展開。車券戦術的にも各選手のスartト力を把握しておくことが必須だろう。

近況絶対的な強さを誇るS1・青山周平は、直近でも12連勝を達成するなど死角ない動きが続く、更に車を仕上げる鈴木圭一郎がこれをいかに打ち破るかが最大の見所だが、地元好調続く伊藤信夫、復調著しい高橋貢、勝負強さを発揮し続ける荒尾聡らも、二強に割って入るべく、牙を磨いての参戦となる。

選手動向

2021年最初のSGに向け、各車臨戦態勢整った

【浜松勢】

1月飯塚G1優勝戦で痛恨のフライングとなった**鈴木圭一郎**。今節スタートを攻められないことが大会5連覇に向け最大の障壁となることは間違いなく、追う展開からさばき切るエンジンに仕上げる整備が必須となる。地元正月開催では最後までフロントのドドド(跳ね)に悩まされており、足回りの安定化も課題だ。

一昨年からの車好調がまだ続くのは**伊藤信夫**。昨年8月の伊勢崎・オートレースグランプリで実に13年ぶりとなるSG制覇を遂げて以降も高勝率をキープ。近況は苦手としていた湿走路での3連対率も急上昇中。直近の地元普通開催でも3日間完全Vを遂げており、展開不安の鈴木圭に代わって地元中心の存在となる可能性も。

車一息の状況続きながらもグレードレースでの優出率高いのは**金子大輔**。乗り手はいまや充実の一途で、理想の動きを求めてパーツ交換を含めた整備が続く。**佐藤貴也**は1月・伊勢崎G1での落車後、エンジンは状態維持も、足回りの跳ねと、得意のスタートにやや精彩を欠くのが気掛かりだ。

直近地元戦を含め、この年明けの動き下降目立つ**木村武之**は、2/10からの伊勢崎G2に向け再度のクランク交換を予定。動きの推移を見守りたい。

同じく近況エンジン状態一息だった**中村友和**だが、直近地元戦では上昇ムード。その師匠・

青島正樹はエンジン・スタートとも安定した動きを示し、好タイヤの確保がテーマか。

A級では、昨年末以来完全復調の動き続く**鈴木宏和**が台風の目となりそうだが、スタートの切れははまだ日替わり感あり、連日コメント等でチェックしたい。冷える走路で追い足上位となる**岩科鮮太**も、近況は粋なりのスタートを決めてくることも多く、連日穴党ファンの視線を集めそうだ。

【川口勢】

直近地元開催で1年4ヶ月ぶりの優勝を飾った**中村雅人**に注目。スーパーハンデ・青山周平の10M前からとはいえ、スタートから抜け出しまでの動きは鋭く、車仕上げは上々とみる。

以前の浜松走路との相性悪さはかなり払拭した感のある**佐藤摩弥**だが、近況は車自体が伸び悩み気味。スタートの出も一息で勝ち切れないレースが多く、エンジンの底上げが急務となる。

永井大介は、1月飯塚G1での大整備が功を奏し、準決勝の雨で優出は逃したものの、節間で1着3本。試走タイムも上限まで出ており、まずはいい状態での浜松入りとなりそう。

ほかS級では、昨年当地優勝歴ある**山田達也**、飯塚G1準優勝の**平田雅崇**らにも目が向くが、注目はむしろA級勢。近況スタート一発決めるシーンが目立ってきた**小林瑞季**、フライング持

ちで控えていたスタートが徐々に普通に切れるようになってきている**加賀谷建明**、そしてベテランイン巧者・**五十嵐一夫**も、近況はエンジン力安定のうえ、スタート先行から展開優位に勝ち切る場面も増えており、注意が必要。

【伊勢崎勢】

今や孤高のS1となった**青山周平**に死角なし。普通開催ではもはやスーパーハンデが当たり前となり、今回もハンデにかかわらず、その攻撃力を思う存分発揮しよう。どの位置からでも飛び出して行けるスタート力は展開的にも絶対優位。以前は課題とされたさばきも堂々のS1級に成長を遂げている昨今。今回も本命党ファンの期待を背負って、押しも押されぬ優勝候補筆頭に。

絶対王者・**高橋貢**も直近好調。飯塚G1でのフレーム交換で乗りづらさが解消されて以降は試走タイム・レース足とも高位安定の動きが続く。当地は相性も良く、昨年11月のG1秋のスピード王では優勝戦で最後鈴木圭一郎にチョイ差しの逆転許す惜敗の準優勝。3ヶ月前のリベンジに王者が燃える。

浜松相性といえば、**早川清太郎**には依然不安が。近況でも浜松ではなかなかエンジンを合わせ切れない流れが続いており、今回に向け何か秘策は？ 調整が合えば試走タイムも出て、エンジンベースは悪くないことは明らかだが…。

昨年来、不振の長かった**西原智昭**がようやく



鈴木圭一郎
(浜松 32期)



伊藤信夫
(浜松 24期)



金子大輔
(浜松 29期)



中村雅人
(川口 28期)



佐藤摩弥
(川口 31期)



永井大介
(川口 25期)



青山周平
(伊勢崎 31期)

復調ムード。エンジンに関してははまだ日替わりの感拭えないものの、スタートの切れに関してははかばか戻っている、と本人のコメントにも。一気の飛び出しから展開作っていくシーンはありそう。

A級の好調車としては、**三浦康平**、**田村治郎**の名が挙がるが、いずれも試走タイムに比べてレース足の弱さが目立ち、エンジンパワー上昇を目指す整備の結果次第となる。

【飯塚勢】

昨年来の事故点の多さゆえ、近況は主に外マクリ主体のレースが多い**荒尾聡**だが、その勝負強さと、結果として残っている勝率はさすがと言うべき。エンジン自体は昨年末のスーパースタートリアルでのパーツ交換以降安定しており、時折出るドドドと、いまだムラ気配あるスタートを好調レベルで安定させたいところ。

それでも勝ち上がり段階では車券からは外せない存在だ。

浦田信輔のこの冬は試走タイムが出てレース足が一息の状態が続いた。しかし直近の地元戦で準優勝。ようやくエンジンパワー上昇傾向が見え、得意走路とする浜松で更に上積みといきたいところだ。浜松正月開催を3.321の超絶上がりタイムで制した**瀧下隼平**は、直近地元ミッドナイトも3.328で優勝。トップ2に時計で対抗できる筆頭格といえ、今回もスタート展開次第では常に車券圏内狙える存在に。

A級では、**越智尚寿**、**中尾貴志**らがスタート・エンジンともに好調で、先行から残り目に期待。

【山陽勢】

近況上位戦での活躍にやや乏しい印象の**山陽勢**だが、**佐々木啓**、**松尾啓史**のトップ2はいずれも車状態良く、浜松相性も抜群。松尾は以前の

浜松では悩み多かった足回りのトラブルも近況はほぼ解消。今では浜松が一番乗りやすい、とのコメントまで。佐々木は前回の浜松では気になるレベルのドドドが出ており、まずは足回りをしっかりさせたいところか。

近況伸び盛りの**丸山智史**も、浜松ではドドドが出やすく注意。エンジンは行き足・乗り味ともに良く、連日タイヤ探し中心の流れとなりそう。直近浜松開催で落車あった**岡部聡**は最終日を見る限り心配はなさそうで、初日の鋭い追い足再現となれば逃げる選手にとっては脅威。丸山同様、只今伸び盛りのオーラ漂う**長田恭徳**も、晴雨共にいつでも一発決められる状態だ。

A級では、**藤岡一樹**に注目。昨年末以降の大活躍は周知の通りだが、飯塚G1では反妨などもあり、ややリズムを崩した感。それでもエンジンベースは悪くなく、常々「5場で一番合わせやすい」とする浜松で、人車とも立て直してくる公算は高そう。



高橋貢
(伊勢崎 22期)



早川清太郎
(伊勢崎 29期)



荒尾聡
(飯塚 27期)



浦田信輔
(飯塚 23期)



瀧下隼平
(飯塚 28期)



佐々木啓
(山陽 23期)



松尾啓史
(山陽 26期)

スタート良化中、さばき上昇中… 今節の狙い目選手をより具体的に探る!

沢朋之 記者



浜松オートの年間全レースを見続けた13年目に突入!

島田祐希アナ



いまや浜松オートの顔として年間全レースを熱烈実況!

この選手の出定一氣を狙え!

沢：さて、浜松では実に久々のSG！上位勢の近況は前頁で詳細にお伝えしたので、ここではよりピンポイントに「狙い目」選手を探っていきますよ。

島：ファンの方々の車券予想のお役に立てればいいですね。SGということも、もちろん短ハンデ戦。

沢：となれば、やはり重要になってくるのはスタート。まずは「近況スタート良化中！」と思える選手を。

島：うーん、いきなり難しいですね…

沢：そう？ 結構ボンボン出てくるけどなあ。まず地元S級では青島正樹選手！

島：ああ、確かに。

沢：本人も怪我からの復帰後しばらくは「もっ昔のようには切れない」とコメントしていたけど、最近は「結構戻りつつあるかな」くらいまで。

島：そういうコメントはあまり言わないタイプの選手ですから。言つとこういうことは自信がついてきたんでしょね。

沢：同じく、スタートに関して良いコメントが出てきてるのは金子大輔選手。

島：最近切ってますよね。エンジンがなかなか仕上がり切れないのに優出率が高いのは、そのへんも大きな要因でしょう。

沢：上位戦のハンデ戦でもまず枠内は外さないし、内寄りに置かれればトカんと飛び出すこともまあある。

島：鈴木宏和選手の日本一のスタートも完全に戻ってますね。あとA級では柴田健治選手。良化中というより、ずーっと切れます。

沢：同感。あのスタート力はSGでも十分通用します。あとスタート大穴で狙いたいのは岩科太選手。

島：ああ、たまに最内からボン！と枠なり出ますよね(笑)。

沢：本人に聞くと「いや〜、(出られるのは)10回に1回くらいですよ」だけども、私の印象では3・4走に1回くらいは出て行けるような。穴党の方は25%の確率に賭けてみませんか(笑)！?

島：川口勢には目立った良化中選手がい

ませんね。佐藤摩弥選手もスーパースター3日目のタッシュは物凄かったですが、その後はイマイチで、あ、いきました良化中！五十嵐一夫選手。

沢：おお、そうだね！最近はなんか展開の良いレースが多い。

島：僕の中でも、(同ハン)並んだうちの半分以内で出ていくイメージです。

沢：出てしまえば元々序盤の位置取りも巧い選手だしね。伊勢崎では王者・高橋真選手が最近コメントでも「スタートはいい」と言つてることが多い。

島：西原智昭選手もスタートは結構戻ってますね。でも本来のポテンシャルからすればもっとうる！

沢：まだ前を食つて行けるレベルではないかな。そのへんはエンジン次第。あと以前に比べて良くなっているのは田村治郎選手、吉田恵輔選手あたり。

島：飯塚勢では近況車状態一息の有言辰也選手ですが、スタートはスーパースターでも周りに遜色ない切れました。

沢：龍下隼平選手のスタートをどう評価するかも、予想上大きなポイント。

島：最近普通に切るシーンを見ることが多いですね。切れば、来ますよね…

沢：だって、速いんだもの(笑)。

山陽勢にはスタート良化中選手は見当たらないかなあ。

島：そうですね。丹村飛電選手、岩崎亮一選手に藤岡一樹選手…いずれも、いい時に比べるとむしろ物足りないです。

遅れてもさばいて来るのは?

沢：では続いて「さばき上昇中」の選手を。言い換えれば「スタート遅れても追って行ける選手」。

島：それこそ狙い目ですよ。

沢：地元では直近開催では逆にさばき不調だった木村武之選手。これは伊勢崎(G2レジエント)で交換予定のクランク次第。

島：そうですね。本来の動きに戻って欲しいものですが、同期の松山茂雄選手は地元普通開催では終盤の追い目立ちますが、SGレベルではどうか。

沢：むしろスタート一発トカカン！の方が勝ち目としてはあるかな。直近の普通開催で連日ロング差し含む強さばきを見せていたのが鈴木宏和選手。近況は車がようやく良くなり、レースぶりにも自信が感じられる。

島：川口勢では若井友和選手、山田達也選手など、ただでさえ追い込みがウリの選手がたくさんいますから。

沢：その中でも山田達也選手の最近の終盤1周半くらいの追い込みの勢いは鬼気迫るものがある。あとSGでも十分通用する追い込みといえは、中村雅人選手はもちろんだらう。松原啓史選手、早川清太郎選手あたりかな。あつ、浜松での早川選手はちよっと割引き必要だけど(苦笑)。

島：他場ではあれだけ鬼気迫る追い込みを見せる早川選手が、なぜ浜松だけああも動かないのか…?

沢：いっそのこと初SGタイトルは、いきなり車をドンピシャ合わせて、浜松で獲つて欲しい(笑)！

島：さばき良化中といえは、どちらかと言えば西日本勢に多いような。荒尾聡選手あたり、最近外れ中心ですが以前にも増してさばき足が鋭いですよ。

沢：昨年は事故点が多くて、内々を攻めづらくなったのはあったみたいだけど、それが逆にマクリを鍛える結果になったのかも。最近ばかりはスタート一氣のレースより、さばき上がっていくイメージが強い。

島：飯塚では重音大輔選手も上昇株。

沢：ああ、最近さばいて来るよね。スタート比較で劣勢でも車券圏内は常にありそう。基本的に車速はあるしね。

島：山陽勢は、先ほどのスタート良化中の話とは逆に、さばき・追い込み天国！

沢：さつき出た松尾啓選手に加えて、佐々木啓選手はもちろんだらう。丸山智史選手、長田恭徳選手など、若手成長株も続々だね。そして岡部聡選手のさばきテクニシャンぶりも相変わらず。ここ最近エンジン自体もかなり良さそうで、SGでスタート7・8番手からでも、車券圏内可能なイメージ。

島：追い込みの狙い目は山陽勢！いいですね。

沢：あと、「雨乗り上昇中選手」の話もしたかったけど、タイムオーバーだあ。

★SG 全日本選抜 勝ち上がり基準

1日目	予選 1~12R					
2日目	予選 1~12R					
3日目	一般戦 1~4R	準々決勝戦 5~12R				
4日目	一般戦 1~8R			準決勝戦 9~12R		
5日目	一般戦B 1~4R	一般戦A 5~7R	特別一般戦B 8R	特別一般戦A 9R	選抜戦 10R	特別選抜戦 11R
						優勝戦 12R

(1・2日目)
●予選 (1~12R)
2日間平均競走得点上位 64 名が準々決勝戦へ

(3日目)
●準々決勝戦 (5~12R)
1着と1着を除く3日間平均競走得点上位 24 名が準決勝戦へ

(4日目)
●準決勝戦 (9~12R)
1・2着が優勝戦へ

★着順位およびタイム順位得点表

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
8	6	5	4	3	2	1	0

※競走得点および試走警告の判定を受けた場合、合計得点から1回につき3点、走法注意の判定を受けた場合は1回につき1点をそれぞれ減点する。(一般戦では減点は行わない)

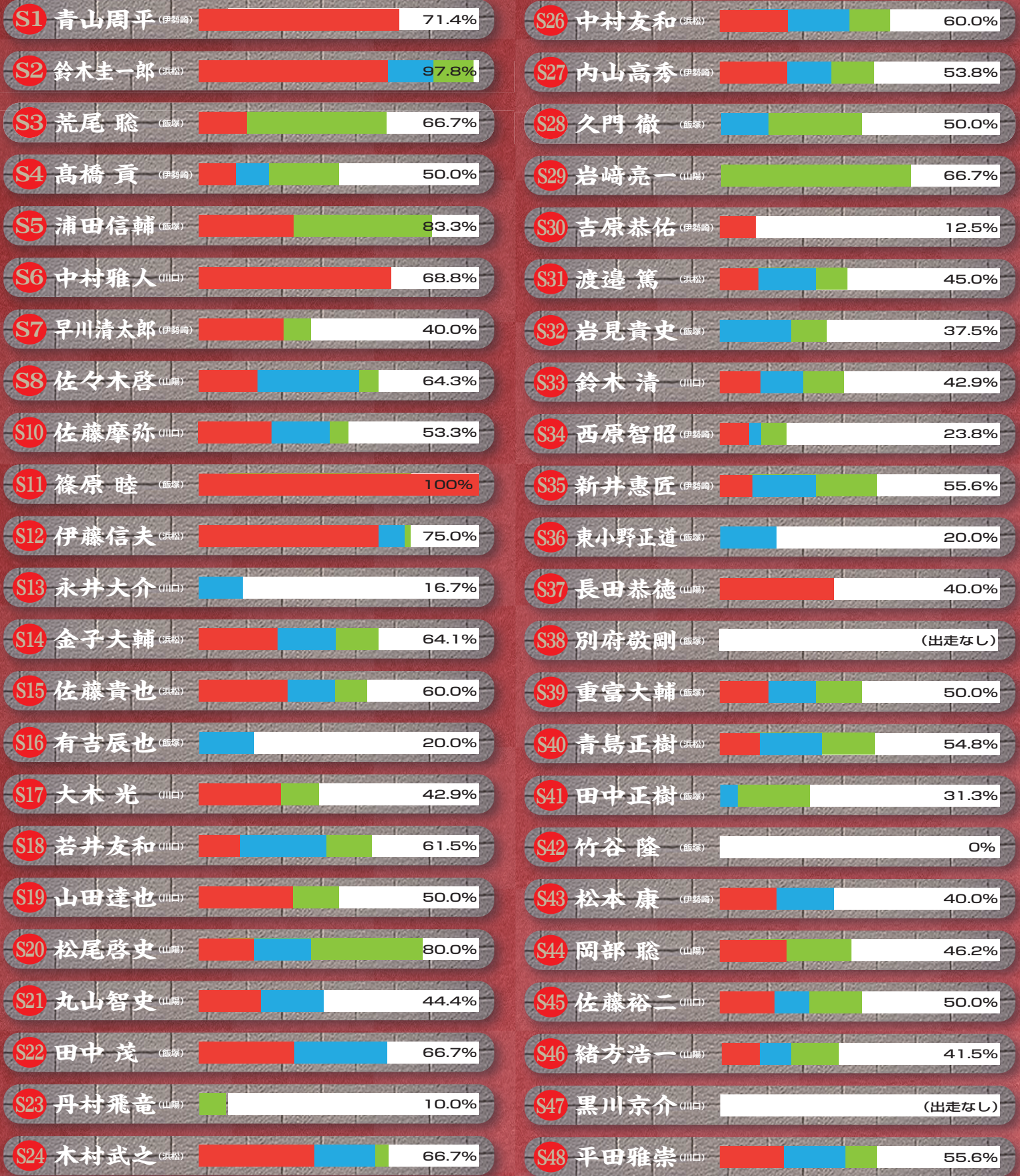
SG 全日本選抜の車券構築に役立つ！

全国S級選手浜松良走路3連対率

1着率 2着率 3着率

※SG全日本選抜出場予定選手近1年データ

【データ活用法】各選手の1着率・2着率・3着率の偏りにご注目！「この選手は何着を厚めに買えばいいのだろう」といった車券構築の最終段階にご活用ください。



《データ解析》

浜松では約2年ぶりのSG戦となる今回。出場予定となるS級選手全員の当地勝率データを抽出したが、この近一年間は新型コロナ対策として地元中心の出場あっせんが続いたこともあり、総じて遠征勢の出走数が少なく、データにはやや偏りが。

そんな中でも高い3連対率を残す青山周平、荒尾聡、浦田信輔、松尾啓史ら各選手は、今節も浜松走路での活躍が大いに期待できよう。中でも中村雅人・篠原睦両選手の「車券に絡めば必ず1着」という戦績には注目だ。

地元勢では何と言っても鈴木圭一郎選手の地元3連対率ほぼ100%は凄いの一言。昨年以來

飛ぶ鳥を落とす勢い続く伊藤信夫選手の1着率の高さも目を引く。同じく木村武之選手も1着率が高めで、金子大輔、佐藤貴也の同期両者はいずれも1着と2・3着がほぼ同じ割合。S級下位の中村友和、渡邊篤選手らは1着よりも2・3着中心と、車券考察の際には重要なファクターとなろう。更にこの1年間出走なしの選手については、多少の割引が必要か。